

2024年度自己点検・評価

実施時期:毎年一回、3月末にその年度のチェックを行う。

実施方法:チェックリストを各自採点、ミーティングによって全体の評価を決定。

実施体制:事務職を含む教員全員、経営役員による。

公表:5月にホームページに公表、あるいは公表できるように準備する。

5段階評価:5 充分

4 充分に近い

3 充分ではないが不足でもない

2 不足だと感じる

1 全くできていない

【項目】

1. 理念・目標
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果
5. 生徒支援
6. 教育環境
7. 入学者の募集
8. 財務
9. 法令遵守
10. 地域貢献社会活動

(1) 理念・目標

評価項目	評価
1-1. 学校の理念、目的・目標が明確か	5
1-2. 学校が育成する人物像が明確か	5
1-3. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

ホームページやパンフレットに理念・目標を明記するとともに、各紹介機関へも周知しています。また、入学前インタビューにおいて当校への入学希望者に対して理念やカリキュラムの狙い、さらには実際の在校生の姿を十分説明しています。

(2) 学校運営

評価項目	評価
2-1. 学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準をみたしているか	5
2-2. 理念や目的にそった運営方針や事業計画が策定されているか	4
2-3. 組織運営、人事体制は整備されているか	3
2-4. 意思決定システムは整備されているか	5
2-5. コンプライアンス遵守の徹底はされているか	5
2-6. 財務管理にかんする規定は整備されているか	5
2-7. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

運営方針は経営担当役員と常勤職員で、財務管理は経営担当役員と経理担当者、顧問税理士で月に一度ミーティングを行っています。告示基準内で改正があった際には見落としがないよう教員間で共有しています。また意思決定は、役員・校長から職員への一方向のみではなく、現場からの声を役員へという双方向からの発信で行っています。

人事体制やコンプライアンスの整備についても同様で、必要になった際には校長が現場の希望を取りまとめて経営側に希望を伝えています。ただし緊急時には現場の校長、主任の二名で決定し、現場と役員へ伝えています。

(3) 教育活動

評価項目	評価
3-1. 理念に沿った教育課程が体系的に編成されているか	5
3-2. 成績評価基準は明確かつ適切に運用されているか	5
3-3. 進級、修了判定基準は明確かつ適切に運用されているか	5
3-4. 教員の指導力向上のための取り組みは行われているか	5
3-5. 教育課程改善のための取り組みは行われているか	5
3-6. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

授業運営の一律化を図るため、教職員間の授業見学や、当校独自の指導要領を教科書別に作成し、必要に応じて改善している。

また新講師研修にも力を入れ、教員の育成をしてきました。教育課程は毎日の授業報告を受けて、年度に一回見直し、必要に応じて細かな点を改善してきました。また成績評価、進級、修了判定基準は改正の有無に関わらず講師間で共有し、統一を図っています。

(4) 学修成果

評価項目	評価
4-1. 学習者の日本語能力を適切に把握し、向上に努めているか	5
4-2. 学習者の進路を適切に把握しているか	5
4-3. 各種認定試験の認定率向上のための体制は整っているか	5
4-4. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

通常の課テストや定期試験に加え、認定試験の校内模擬試験の回数を増やし、講師はもとより学習者自身も日本語能力や弱点に気づく機会を設けました。また3カ月毎に個人面談を行い、進路だけでなく認定試験の受験級の指導もし、適切な受験級を勧め認定率向上に努めています。その上で、学習進度に遅れが見られる学習者には放課後にさらに学習指導を行っています。

(5) 生徒支援

評価項目	評価
5-1. 学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	5
5-2. 健康管理の支援体制が整備されているか	5
5-3. 生活指導などの支援体制が整備されているか	5
5-4. 防災や緊急時における体制が整備されているか	4
5.5. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

昨年度は3回、全体での進路説明会を行いました。また年に4回進路アンケートで状況を把握し、個人面談を

行っています。加えて学習者から相談があった際は面接対策や履歴書の書き方等を個別に指導しました。その結果、卒業時はほとんどの学生が希望する学校や職場に進むことができました。定期的な面談だけでなく、月に一度月別と総合出席率を確認して、月別出席率が90%以下の学生は特別指導し出席率の改善だけでなく、学生の生活事情、健康状態の把握に努めました。また健康診断も年に一度行い、留学生生保険への加入や給付申請の手続きも学校で行っています。外部機関へ校内進路説明会実施の要請、就職説明会及び進路説明会の情報提供、参加を促しました。

災害、火災、感染症の当校独自のマニュアルを作成、都度見直しています。また携帯電話を常勤職員が常備して学生からの緊急連絡に備えています。

(6) 教育環境

評価項目	評価
6-1. 施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	4
6-2. 教材は適切か	5
6-3. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

年に一度の専門業者による消防点検と消防署員による施設設備の点検と評価を踏まえ改善しています。また職員による日々の施設の見回りを行っています。教材は、(3)教育活動と同様に、毎日の授業報告等を受けて年度に一回、適切なものかどうか判断しています。

(7) 入学者の募集

評価項目	評価
7-1. 募集は適切に行われているか	4
7-2. 募集の際学校情報は正確に伝えられているか	4
7-3. 授業料は適切か	5
7-4. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

募集時期ごとに担当者複数名で見直し、募集資料については必要に応じて改善しました。告示基準の変更等、留学生本人にも関わる規定の変更があった際にも都度、反映の可否を検討しています。

学校情報はホームページ、パンフレット、募集要項での開示に加え、紹介機関ならびに入学希望者にオンライン面談でも伝え質疑応答も行っています。昨年度はコース変更の許可を待っている期間、10月生の申請者に対して、変更後の学校情報を明示できず、申請者に不安を与えてしまったことが反省点としてあげられます。

(8) 財務

評価項目	評価
8-1. 中長期に財政は安定しているか	4
8-2. 予算・収支計画は有効かつ妥当か	4
8-3. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

計画は策定していますが、2024年度は新規の留学生募集を停止していたため、運用に課題が残っています。

収支については月に一度、本社経理へ報告を行い、顧問税理士に相談しています。

(9) 法令遵守

評価項目	評価
9-1. 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営が行われているか	5
9-2. 個人情報保護の取り組みは適切に行われているか	5
9-3. 自己点検の実施と改善、及びその公開は適切に行われているか	5
9-4. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

外部講習会への参加等で情報を収集し、その後、教職員ミーティングで共有しています。自己点検は年に一度、定期的に実施し、ウェブサイトで公開しています。

(10) 地域貢献社会活動

評価項目	評価
10-1. 日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献の取り組みは行われているか	4
10-2. 生徒のボランティア活動への支援の取り組みは行われているか	2
10-3. 以上の点は学校の現場や時代の変化に合わせて見直されているか	5

施設活用はないものの、専門学校生、大学生との交流活動(当校行事への参加)を行いました。

ボランティア活動は、学校としての実施はありませんでしたが、在校生が情報を容易に取得できるよう校内に配架しています。次年度は地域のボランティア活動などへの参加を予定しています。